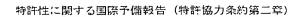
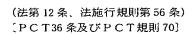
INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY 特許協力条約

PCT





出頭人又は代理人



4 C

3 2 2 9

の書類記号 664315	/ Booling is a	. 12. 12. 12. 1				
国際出頭番号 PCT/JP2004/001619	国際出願日 (日.月.年) 16.0) 2. 2004	優先日 (日. 月. 年)			
国際特許分類(IPC) Int.Cl. A61K31/6	16 (2006. 01), A61P17/0	0 (2006. 01), A61P17,	/02(2006.01), A61P29/00(2006.01)			
出願人 (氏名又は名称) 帝國製薬株式会社						
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の		で作成された国際予備	審査報告である。			
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で4 ページからなる。						
3. この報告には次の附属物件も添付され a. 「 附属書類は全部で	ιている。 ページである。	.				
			月が認めた訂正を含む明細書、請求の範 {)			
「第1欄4.及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し		おける国際出願の開え	その範囲を超えた補正を含むものとこの			
b. 「 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示す。	ように、電子形式による	- 5配列表又は配列表に	(電子媒体の種類、数を示す)。 - 関連するテーブルを含む。			
(実施細則第802号参照)						
4. この国際予備審査報告は、次の内容を						
┃ ┃	8生の其磁					
第11欄 優先権	K LI V AS WE					
	第IV欄 発明の単一性の欠如					
	▽ 第Ⅴ欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明					
「 第VI欄 ある種の引用文献						
「 第VII楓 国際出願の不佩	Ħ					
第四欄 国際出願に対す	Fる意見					
国際予備審査の請求書を受理した日		国際予備審査報告を作	作成した日			
24.08.2005		04.01.2006				

今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。

特許庁審査官 (権限のある職員)

電話番号 03-3581-1101 内線 3452

榎本 佳予子

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2005年4月)

日本国特許庁(IPEA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

名称及びあて先

第	I 和	報告の基礎
1.	言記	に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。
		出頂時の言語による国際出演
	-	
	i	出頭時の言語から次の目的のための言語である 語に翻訳された、この国際出頭の翻訳文
		□ 国際調査(PCT規則12.3(a)及び23.1(b))□ 国際公開(PCT規則12.4(a))
		国際子備審査 (PCT規則55, 2(a) 又は55, 3(a))
		1 四所 1 回任 近 (1 〇 1 からならの)。 2 (4) 人 (本) 3 、 3 (4))
2.	_0	報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され
	た差	e替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)
	V	出領時の国際出領書類
	•	
	Γ	明細書
		位 - ***
		第 ベージ、出願時に提出されたもの
		第 ベージ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		7000円間は日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日
	1	請求の範囲
		第 項、出願時に提出されたもの
		第 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第
	_	図面
	ı	
		第 ページ/図 、出願時に提出されたもの 第 ページ/図*. 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第 ベージ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ベージ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	_	配列表又は関連するテーブル
	1	配列表に関する補充欄を参照すること。
3.	Г	補正により、下記の掛類が削除された。
٥.	,	INTERIOR DE LA COLLA DEL COLLA DE LA COLLA DEL COLLA DE LA COLLA D
		「 明細杏 第 ベージ
		「 請求の範囲 第 項
		□ 図面 第 ベージ/図□ 配列表(具体的に記載すること)
		□ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)
		TELEVISION (XPAINCELIAL) OCC)
4.	Γ	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超
		えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
		「 明細書 第 第 第 第 第 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
		「明細書 第
		図面 第へージ/図
		□ 配列表(具体的に記載すること)□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
		1 配列表に関連するケーブル(具体的に記載すること)
* 4	1. ::	に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

特許性に関する国際予備報告 国際出版番号 PCT/JP2004/001619 第Ⅲ榀 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により 審査しない。 国际出 国际出 国际出 国际出 国际出 国主体 ▼ 請求の範囲 3 理由: 次の事項を内容としている(具体的に記載すること)。 ままっなア ▽ この国際出頭又は請求の範囲 3 請求の範囲3は、人の身体の手術又は治療による処置及び診断方法に該当し、PCT 規 則 67.1(iv)の規定により、国際予備審査機関が国際予備審査を行うことを要しない対 象に係るものである。 □ 明細費、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の範囲 Ø) 記載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体的に記載すること)。 「全部の請求の範囲又は請求の範囲 が、明 細書による十分な 裏付けを欠くため、見解を示すことができない(具体的に記載すること)。 ▼ 請求の範囲 3 について、国際調査報告が作成されていない。 入手可能な配列表が存在せず、有意義な見解を示すことができなかった。 出願人は所定の期間内に、

- 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす紙形式の配列表を提出しなかったため、国原予備審査機関は、認めら れた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。
- られた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。
- 「PCT規則13の3.1(a) 又は(b) 及び13の3.2に基づく命令に応じた、要求された配列表の遅延提出手数料を支払わ なかった。
- 「 入手可能な配列表に関連するテーブルが存在しないため、有意義な見解を示すことができなかった。すなわち、出願人 が、所定の期間内に、実施細則の附属書との2に定める技術的な要件を満たす電子形式のテーブルを提出しなかったた め、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法でテーブルを入手することができなかった。
- ア ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが電子形式のみで提出された場合において、当該テーブルが、 実施細則の附属費Cの2に定める技術的な要件を満たしていない。
- 詳細については補充欄を参照すること。

特許性に関する国際予備報告

国際出版番号 PCT/JP2004/001619

それを製付ける文献及び ・ 見辞	<i>5.</i> 7.	
新規性(N)	請求の範囲	
	請求の範囲 1-2	—————————————————————————————————————
進歩性(IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-2	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-2	有
	請求の範囲	無
文献及び説明(PCT規則)	70. 7)	
	9 7 5 A 1 (TEIKOKU SETYAKU KARUSHIKI KAISHA)	
請求の節囲1-2に		10 14 77 7
医がほぞ有しない。 文献1には、アセチル 皮膚損傷治療剤が記載 痛作用を併せ持つ旨も	係る発明は、国際調査報告で引用された文献1より新ルサリチル酸0.05~15重量%を活性成分としてされている(請求項1、5)。また、アセチルサリチ記載されている(第2頁第10~16行)。さらに、 喜剤、貼付剤等の外用剤を用いることができる旨も記	含有する
医がほぞ有しない。 文献1には、アセチル 皮膚損傷治療剤が記載 痛作用を併せ持つ旨も の投与剤型として、軟質	係る発明は、国際調査報告で引用された文献1より新ルサリチル酸0.05~15重量%を活性成分としてされている(請求項1、5)。また、アセチルサリチ記載されている(第2頁第10~16行)。さらに、 喜剤、貼付剤等の外用剤を用いることができる旨も記	含有する